

28 データに基づくまちづくり研修



～エビデンスに基づく政策形成・事業評価を学ぶ～

目的	EBPM（証拠に基づく政策形成）の概念やEBPMに基づくKPIの利活用の考え方を学ぶとともに、評価手法や政策形成とのつながりを学ぶ。
内容	(1) EBPMやKPIの概念と地方自治体での活用方法を学ぶとともに、施策評価、事務事業評価、事業体系との関係を学ぶ。 (2) KPIの設定の仕方、KPIを使った事業改善手法、設定手法をグループ討議などを通じて学び、政策形成能力の向上を目指す。
実施月日	10月11日（火）～12日（水）
対象者員	【市町村職員との合同研修】 ・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 30名 ・係長級の市町村職員 12名
昨年度受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・データを用いて課題となった原因を発見することの重要性や、目標値の立て方、指標の設定の手法を学んだ。 ・講師は高い専門性を持っており、他の自治体や大分県の実例を用いた演習等を交えて学ぶことができ、理解しやすかった。 ・予算編成や業務改善に活用できる内容だった。

日程表		8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	オリエンテーション	1 時代背景と概念骨子の紹介		昼食	3 各種業界でのKPIの使い方	
			2 KPIのあり方・指標としての設定手法			4 地方自治体でのKPI利活用の考え方	
2日目	受付	5 地方自治体でのKPI利活用の考え方		昼食	6 演習		アンケート・閉講
					7 まとめ		

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。